



伝統と今を大切にする

# 堅川中だより

第3号

令和6年6月7日  
墨田区立堅川中学校  
発行 校長 稲垣 吉実

## 「所為」について！

今日は「所為」という漢字について話したいと思います。この漢字を見たことがありますか？この漢字は「所為 せい」と読みます。「人の所為にする」の「せい」ですね。子供だけでなく、大人もそうですが、人間は結構わがままで、自分に原因があって謝ればすむことでも、自分の悪かったことは棚に上げて、ついこの「所為」を使ってしまっている人も多いのではないのでしょうか。

私がまだ担任をしていた頃、遅刻をしてきた生徒に「今日はなぜ遅刻をしたのか」とたずねたところ、「目覚ましをセットしたのにならなかった」「親が起こしてくれなかった」だから「鳴らなかった目覚まし時計が悪い」「起こしてくれなかった親が悪い」と言いました。

自分のことは棚に上げて、遅刻した理由を「目覚まし時計のせい」「親のせい」にしてしまっているわけですね。皆さんも似たようなことをした経験はないのでしょうか？

では、なぜ人は「人のせい」にしてしまうのでしょうか。私自身も反省することが良くありますが、「人の所為」にするのは、怒られたくない、自分に自信がないなど、人のせいにしてしまったほうが気が楽だという自分への甘えがそうさせているのかもしれない。

しかし、いつでも自分のことは棚に上げて、他人のせいにはばかりしていると、あの人は、あの子は本当にいつもわがままで、信用できない人と思われるようになってしまいます。

いつも「人のせい」にはばかりしないで、自分の過ちは自分に原因あることを素直に認め、「自分に厳しく、他人に優しい人」になってほしいと思います。

今月は運動会や中間考査も予定されています。運動会で勝てなかったことや勉強が分からないことをいつまでも人の所為にせず。今できることを精一杯やって、自分自身の目標に向け頑張してほしいと思います。そして、学年目標やクラス目標もできていると思います。もう一度、自分の周りの人間関係をしっかり創りあげて、皆の力で、楽しい学校生活を送るようにしましょう。

## 6月の予定

1	土	
2	日	
3	月	安全指導
4	火	
5	水	運動会事前指導(放送) 定例・代表委員会
6	木	運動会予行 運動会準備
7	金	運動会予行予備日
8	土	運動会 教育実習(終)
9	日	運動会(予備日)
10	月	振替休業日(6月8日分)
11	火	
12	水	
13	木	
14	金	育成総会 第1回漢字検定
15	土	
16	日	
17	月	生徒朝礼 避難訓練
18	火	
19	水	職員会議 プール指導(始)
20	木	定期考査1週間前 諸活動停止期間開始
21	金	交通安全教室
22	土	
23	日	
24	月	朝礼
25	火	
26	水	区中研一斉研究授業 NO 残業 DAY
27	木	定期考査1日目
28	金	定期考査2日目 諸活動停止期間終了 定期健康診断終 部活動再登校 学校運営連絡協議会
29	土	
30	日	

※ ( ) 内の数字は学年や5組をあらわしています。 例 (5) : 5組

## 【1学年】

委員会活動や部活動も本格的に始まり、少しずつ中学生らしい姿が見られるようになってきました。各教科の授業も内容が専門的になってきていますが、頑張って学習に取り組んでいます。

5月は、中学生になって初めての大きな行事である運動会に向けて、一生懸命に練習に励みました。バトンパスの練習を繰り返したり、大縄跳びの整列隊形を工夫して、連日の練習に臨みました。また、練習を重ねるごとに運動会実行委員だけでなく、自分たちからお互いに声をかけ合って整列したり、アドバイスをしあう様子があり、一人ひとりの成長を感じました。



## 【2学年】

3日間の職場体験学習が終わりました。準備をして、調べて、緊張して迎えた体験当日。実際に働くということは、どんな感じでしたか？不安だったり難しかったり、戸惑ったりもしたかもしれませんね。そんな中でも、達成感や面白みも味わえたのなら嬉しいものです。また、国語の授業で習った手紙文の形式(時候のあいさつなど)を用いて、心をこめて事業所の方にお礼状を書きました。たくさんの方々の協力を得て実現した貴重な体験だということを忘れずに、学んだことを皆さんの「人生の糧」にしてください。体験先の方もきっと喜んでくれることと思います。ご家庭でもぜひ、体験や感想について、お子様の話に耳を傾けてあげてください。

東洋食品



第一ホテル兩國



金星ゴム



## 【3学年】

<3年生修学旅行へ行ってきました。>

1日目は学年で行動・見学し、日本の古都を訪れ、本物に触れ、その迫力や歴史を感じてきました。

2日目は、班別行動の中に体験学習を入れ、各グループで様々な体験活動を行うことができました。座禅体験では、退蔵院 副住職の松山大耕様のお話を聞くことができました。

「中高生の悩みで、とくに多いのは将来についてで、中高生の時点で将来の夢が決まっている人は多くありません。10年、20年後には今では考えられないような仕事も増えています。だからこそ何事にも1回挑戦してみることが重要です。そのことが、本質を知ることにつながります」

と、ご自身の経験も踏まえ、知るだけではなく体験することの重要性を説いていただきました。また、

坐禅は心の掃除であることについてコップを例に話して頂きました。心が一杯で溢れてしまわないように、坐禅に集中することで心のコップを整理しようという内容です。坐禅体験は15分という短い時間ですが、静寂の中で心を落ち着かせるこの体験は生徒たちにとっても新鮮だったようです。

また、事後学習において「今後の生活に活かしたい」と口にする場面を見たり聞いたりしますが、実際にはどうということなのか、考えてほしいと思っています。「今後の生活に活かす」とは、どういう意味かという点、

- ・失敗しないよう、うまくいくように最善を尽くす。
- ・それでも失敗してしまったとき、次に同じような失敗などが起きないようにするどうすればいいのかを考え、実行すること。
- ・失敗などに対し、誠意をもって対応すること。

などが考えられます。「今後の生活に活かす」と言ってそれで終わりにしないことが大切なのではないでしょうか。

## 【5組】

5月に、2年生は職場体験、3年生は修学旅行がありました。日頃の学校生活とは違う環境の中で、貴重な体験や学習を積み重ねることができ、一人一人の成長につながり、様々な思い出をたくさんつくることもできました。以下、生徒作文抜粋です。

『職場体験』 フレンドリープラザ江東橋児童館に行きました。初めて仕事を頼まれた時は頭が回らなかったですが、優しく教えていただいたおかげで、徐々にわかってきました。幼児の子供達と遊んで、可愛かったです。たくさん話しかけてくれました。嬉しかったです。職場体験は、とても良い経験になりました。

『修学旅行』 一日目は奈良公園に行きました。東大寺の大仏は、15メートルぐらいあって、とても大きかったです。鹿にせんべいをあげました。友達が、鹿せんべいをあげる時に、鹿とポッキーゲームをしていたことが、面白かったです。宿の部屋では、トランプで盛り上がりました。二日目は、清水寺でおみくじを引き、人生で初めて凶をひき、ショックでした。座禅体験では、足がしびれて痛かったです。三日目は金閣寺に行き、金色でとても輝いていました。新幹線の中でのババ抜きが、とても楽しかったです。

## 【食育】 食品ロスの授業

5月に2年生に食品ロスに関する授業を行いました。学校の食育として食品ロスを取り扱うと、「給食を残さず食べる」というようなことを思い浮かべそうですが、コロナ禍以降4年ぶりに復活した職場体験と関連させて別の切り口で実施しました。

錦糸町周辺を歩くだけでも飲食物を扱う企業をたくさん目にします。外食企業やコンビニやスーパー、あるいはそこで売られている食料品メーカーなど、生徒にとって身近な企業です。それらの企業が行っている食品ロス対策を調べて共有し、自分が賛同できるものはないか、家族などに広められるものはないか、と探ってみました。

多くの生徒は、コンビニなどでよく取り組まれている「てまえどり」に興味をもっていました。「てまえどり」とはどんな取り組みなのか、ぜひお子様に聞いてみてください。